

## 校外学習に行ってきました。

### 3年生 修学旅行（5月16日～18日）

沖縄が梅雨入りしたため天候が心配されていましたが、3日間とも良い天候に恵まれました。

初日は、ひめゆりの塔、平和祈念公園、糸数アブチラガマ等を巡りました。資料館や真っ暗な壕内での学習を通して、生徒一人一人が戦争の悲惨さを肌身で感じ取り、平和のため自分ができることについて真剣に考えていました。平和祈念集会では、

**「一人一人が思いやりの心を持ち続け、お互いを認め合います。自分勝手な振る舞いで、人を傷つけません。日々、生きることに真摯に向き合っていきます。」**と全員で声を合わせて誓いました。その姿に胸が熱くなりました。平和を創ろうとする生徒たちを誇りに思います。

2日目は、沖縄の文化と自然を満喫しました。美しい海でのシュノーケリングや珊瑚礁の生態系観察、沖縄のお菓子作り、三線体験、水族館の見学など、友だちとの楽しい思い出が沢山できました。そして、最終日は、首里城で沖縄の歴史に触れたり、国際通りで班別自主研修を行ったりしました。

平和について真剣に考えたことや美しい自然の中でのすばらしい思い出が、きっとかけがえのない宝物となることでしょう。



### 2年生 広島平和学習（5月18日）

広島平和公園を訪れ、平和集会を行いました。千羽鶴を献納し、生徒全員で真剣に平和宣言を行いました。集会の運営・進行は生徒が主体となって行われ、とても立派でした。資料館を見学した後、ボランティアガイドさんのお話を聞きながら班ごとに慰霊碑などを歩いて巡りました。生徒たちは、戦争の惨禍から目をそらさず、命や平和の尊さを心に刻んだものと思います。



#### 【生徒の感想（一部抜粋）】

●多くの慰霊碑を見たり、峠三吉さんの詩を読んだりして、原爆や戦争は多くの人の体だけではなく、心も傷つけて、命を奪った恐ろしいものであることを後世に伝えたいと思いました。●つらい話であっても、人に伝えることで「未来への一歩となる」と、ガイドの方は信じていると感じました。●普通の暮らしが一瞬間に消え去った当時の人々の無念さと悲しみを想像することができました。様々な遺品を目にする事で、当時、そのものを使っていた人々がいたということを改めて考えました。これは、実物を見なければ感じる事ができないものだと思います。●ガイドさんからは、原爆や戦争に対する様々な意見を聞くことができました。これを基に、新たな自分の考えを築いていきたいです。